

第 44 回

日本林学会中部支部大会

論 文 集

平成 8 年 3 月

1996

日本林学会中部支部

目 次

[論文編]

ITTO の展開構造と機能	1
—国際熱帯木材機関は熱帯林にとって有用な存在か—	
信州大農	仙田 明広
リゾート開発と地域住民	5
—環境アセスメントを中心として—	
信州大農	瀧澤 嘉男
都市近郊林—21世紀万国博候補地—をめぐる二つの論理	9
東大愛演	桐村 剛
尾鷲ヒノキ林固定試験地資料から推定したシステム収穫表の成長パラメータ（II）	13
—相対化モデルによる推定—	
三重大生資	田中 和博
	川村 啓一
パソコン版 GIS による地域森林資源データの検索と表示について	17
三重大生資	川田 伸治
	田中 和博
木材産地形成のための資源把握について	21
岐阜大農	伊藤 栄一
	林 進
	落合 真也
三重大学附属演習林における GPS の受信状況と林分構造	23
三重大生資	田中 和博
	今枝 仁
	川村 啓一
中日本航空	大内山弘美
	窪田 清伸
	坪井 知美
広葉樹林施業の基礎的研究	27
—利用材積率の変化—	
岐阜大農	野尻 智周
	藤原 三夫
	谷口 昇
	内木 勝夫
	青木 達雄

天然生広葉樹林における保残木マーク法の適用について	29
信州大農	松本 敏朗
	井上 裕
	植木 達人
信州大演	林 博道
木曽谷国有林野尻営林署における人工林施業の歴史的展開 (II)	31
—御料林百年計画制定期の育林作業を中心として—	
信州大農	前川真知子
	植木 達人
タマチョレイタケの人工栽培に関する研究 (II)	35
—培地添加物、培地基材について—	
静岡県林技セ	鈴田 哲司
ヒラタケ菌床栽培における紅茶抽出残渣（茶殻）粉末の培地添加による細菌の抑制	37
静岡県林技セ	武藤 治彦
菌床栽培におけるシイタケ菌の生理	39
—温度差・振動が子実体発生に及ぼす影響—	
長野県林総セ	竹内 嘉江
各種培地素材でのハタケシメジ栄養菌糸体の収量について	41
名大農	西村 隆雄
新王子製紙株林木育種研	太田 勉
	末崎たづ子
	原 弘
	柴田 勝
エリンギイ (<i>Pleurotus eryngii</i>) の栽培に関する研究	45
—耐熱性と廃培地利用—	
愛知林セ	澤 章三
林道災害に関する一考察	49
—林道周辺の環境を指標として—	
秋田県林務	望月 明剛
信州大農	林 博道
	井上 裕
路網配置構造と到達性に関する研究	53
名大農	松本 武
	近藤 稔
安倍川上流域における路網配置計画について	55
—数値地形図を用いたタワーヤード集材の検討—	
静岡大農	川村 義法
	古谷 士朗
	近藤 恵市

静岡県におけるクロマツ海岸防災林の分類（I）	85
—各地域における林帶横断形状の違い—	
静岡県林技セ	森 充
競争指數による林木個体間競争の解析について（V）	87
—スギさしき林の各種競争指數と肥大生長、年輪幅との相関—	
岐阜県林業短期大学校	野々田三郎
競争指數による林木個体間競争の解析について（VI）	91
—スギ実生林の立木密度別、施肥の有無別、樹型級別競争指數の経年変化—	
岐阜県林業短期大学校	野々田三郎
ヒノキ間伐試験地の成長	93
東大愛知演	井上 淳
渡部 賢	
後藤 太成	
荒木田善隆	
スギースギ二段林の上木間伐に伴う下木の損傷事例	95
静岡県林技セ	藤下 章男
大場 孝裕	
鈴木 善郎	
簡易空中写真の画像処理による樹冠投影図の作成	97
石川県林試	矢田 豊
小谷 二郎	
落葉広葉樹二次林における相対照度の水平分布	99
岐阜大農	加藤 正吾
寺西 美樹	
小見山 章	
ササ類の生育に及ぼす明るさの影響	101
—スズタケとミヤコザサにおける生活様式の比較—	
三重大生物資源	土居 宏文
武田 明正	
カラマツの樹液上昇経路と速度	105
信州大農	藤谷 朋洋
川崎 圭造	
発泡スチロールを使用したブナの成育	107
信州大農	橋本 薫
川崎 圭造	
土壤水分処理におけるカラマツ・コナラ・ブナの成育特性	109
信州大農	原田 光恵
川崎 圭造	

ブナ天然林構成種のサイズ構造における特徴	111
岐阜大農	肥後 瞳輝
岐阜大演	永島 義治
	谷口 鼻
	内木 勝夫
	青木 達雄
	丸山 三行
	藤原 三夫
ブナの人工造林	115
—西駒演習林において—	
信州大農	中込 裕子
	福本 恵子
	川崎 圭造
西駒山地におけるブナの葉の形態	119
信州大農	近藤 聖
	川崎 圭造
天然生二次林のモザイク状更新に関する研究	123
東大愛知演	築瀬 憲次
	渡部 賢
	原 孝秀
三重県青山町・奥山愛宕神社境内林の林分構造 (II)	127
—広葉樹林上層木の材積などについて—	
三重県林技セ	富田ひろし
三重大生物資源	武田 明正
三重県青山町・奥山愛宕神社境内林の林分構造 (III)	129
—広葉樹林中・下層木の樹種構成について—	
三重県林技セ	富田ひろし
三重大生物資源	武田 明正
三重県青山町・奥山愛宕神社境内林の林分構造 (IV)	131
—広葉樹林の林床植生の分布と種構成について—	
三重県林技セ	富田ひろし
三重大生物資源	武田 明正
最終氷期中の寒冷期の植生について	133
—岐阜県谷汲村深坂湿原の花粉分析—	
信州大農	中堀 謙二
奥原測量設計	小林 桜子
里山の植生史	137
—長野県飯田市上郷野底山蛙沼の花粉分析から—	
信州大農	中堀 謙二
スギ溝腐病罹病木の組織化学的観察	141
名大農	吉田 和広

カラマツ腐心病（カイメンタケ）の伸長速度	145
信州大農	大田 欣和 岡 昌一 川崎 圭造
キバチの共生菌を接種したスギ・ヒノキ伐倒木における材変色（予報）	149
三重大生資	三原 由美 名大農 三重県林技セ
ニトベキバチ（ <i>Sirex nitobei</i> ）でみとめられた昆虫寄生菌	153
名大農	福田 秀志 肘井 直樹
スギ・ヒノキ採種園におけるタネバチ類等の種子害虫の防除	155
静岡県林技セ	佐野 信幸
クスノオオキクイムシ（ <i>Xylosandrus mutilatus</i> ）の共生菌（X）	157
—坑道内と人工培地上における <i>Ambrosiella</i> 属菌の発育状態の比較—	
名大農	梶村 恒 NTT
ナラ枯損林で採集されたキクイムシ類（II）	161
福井県総合グ	井上 重紀
愛知県産養菌性キクイムシ類の羽化脱出パターンと生存日数	165
名大農	梶村 恒
静岡県におけるマツノマグラカミキリの発生予察	169
静岡県林技セ	佐野 信幸 藤下 章男
大發生したブナカイガラタマバエの4年目以降の発生状況	171
岐阜県林セ	野平 照雄 大橋 章博
温川流域における崖錐の形成と土砂生産様式	173
岐阜大農	木村 正信 谷野 幸司 戸松 修
温川流域における土砂移動過程に関する考察	175
岐阜大農	南谷 将光 木村 正信 戸松 修

大谷崩「一の沢」における石礫型土石流の発生とこれによる生産土砂量について	177
静岡大農 垂見 光貴 土屋 智	
地質からみた崩壊特性（II）	181
— 小渋川流域の崩壊分類 —	
岐阜連大農・信州大農 信州大農	細川 容宏 北澤 秋司
TDR のキャリブレーションと斜面水文観測への応用	183
名大農	藤原 淳一 木村 時政 恩田 裕一 愛知教育大
	辻村 真貴
マイクロライシメーターによる土壤水分の移動に関する基礎的実験	187
静岡大農	柏原 佳明 土屋 智
山地小流域の土層構造について（II）	191
— Nc 値と現場密度・透水性との関係 —	
信州大農	野田 敦夫 小野 裕
治山施工地における表層土壤の理化学的性質について	195
名大農	竹田 泰雄 キン ミヨー トウン 杏名 重明 木村 時政 木村 和子
森林伐採後の土壤物理性の変化について	199
信州大農	小野 裕
水文特性からみた保安林の適正配置に関する研究（I）	203
— 神名沢・深沢流域を対象として —	
信州大農	矢島 光一 北澤 秋司
山地小流域における流出特性の検討（III）	207
— 谷部植生が流出に及ぼす影響について —	
信州大農	松本 章夫 小野 裕 宮崎 敏孝
雨氷現象による森林被害の素因の分析	211
— 多変量解析を用いた分析 —	
信州大農	早田 昌生 宮崎 敏孝

降雨災害の経年変化と降雨の関わり —地域別の特徴—	岐阜連大農・信州大 信州大農	牛山 素行 北澤 秋司	215
透過型ダム施工区間における流水中の濁度変化について	岐阜大農	中野 寿哉 木村 正信 戸松 修	219
荒廃地の地質特性と植生導入の関係に関する研究（I） —野底川流域の自然的特性について—	岐阜連大農・信州大 信州大農	楊 喜田 北澤 秋司	221
中央構造線とその地形発達史	信州大農	北澤 秋司	225
名古屋大学構内二次林とタケ林における樹幹流および林内雨の成分比較	名大農 国立名工研	酒井 佳美 只木 良也 松井 春夫	229
市之倉川流路工区間におけるDO濃度変化について	岐阜大農	木村 正信 戸松 修 木村 真由	233
樹木苗の水耕栽培における基本的条件の設定	国立名工研	松井 春夫	235
透過型床固工堆砂域における河床形状の変化について —三峰川鋼製床固工を事例として—	信州大農	吉野 瞳 宮崎 敏孝	239

[報文編]

地球環境問題を考える —先人の言葉に学ぶ—	三重大生資	島田浩三久	243
流況曲線にみる森林の水流出に及ぼす影響	東大愛知演 荒木田きよみ 芝野 博文	後藤 太成	245
河畔林の成立とその機能について	信州大農	植木 直哉 宮崎 敏孝	249